

つづいてくる人々へ自ら語り残した「私の歩いてきた道」

●長編記録映画●市川房枝生涯を語る

八十七歳の青春

市川房枝生誕百年を記念して

ビデオ版で販売開始！

明治、大正、昭和にわたって
女性の地位向上のために闘い
獲得するまでの過程を中心に
市川さんが、
その生きてきた道を語る。
この映画は、つづいてくる人々へ
自ら語り残した
熱いメッセージである。

●企画・製作＝桜映画社
●121分・カラー作品

●販売価格(消費税別)

VTR(一般向)=15,000円

[1993. 6. 30まで 特別価格12,000円]

VTR(ライブラリー向)=40,000円

16ミリ=700,000円

【市川房枝略年譜】

- 一八九三 愛知県中島郡明地村で生れる。
- 明治二六 愛知県立女子師範学校を卒業して朝日尋常高等小学校訓導。
- 大正一三 名古屋新聞記者となる。
- 一九一七 大正一七 大日本労働総同盟友愛会婦人部の書記となる。11月辞任。
- 大正一八 平塚らいてうと「新婦人協会」を設立、治安警察法改正運動を起こす。
- 一九二一 新婦人協会理事を辞任。婦人問題、労働問題研究のため渡米、約二年間滞在。
- 大正二〇 帰国、ILO東京支局勤務。
- 大正二四 「婦人参政権獲得期成同盟会」翌年婦選獲得同盟と改称、創立に参加、婦人参政権運動。
- 一九四五 婦人問題研究所、婦人時局研究会事務所(四谷区尾張町五)空襲で全焼。
- 昭和二〇 敗戦
- 八・一五 「戦後対策婦人委員会」結成。
- 九・二四 婦選要求五項目の申合せをなし、政府、政党に働きかける。
- 一一・三 「新日本婦人同盟」創立、会長に就任、婦選運動を続ける。
- 一二・二九 婦選会館建設を呼びかけ、建設委員会設置。
- 一九四七 言論報国会理事であったことが理由で公職追放となり新日本婦人同盟会長を辞任。
- 昭和二二 追放解除。
- 一九五〇 新日本婦人同盟臨時総会で、「日本婦人権者同盟」と改称、会長に再任される。
- 一九五三 参議院に立候補をすめられ、同盟会長を辞任、理想選挙で立候補し、当選。
- 昭和二八 「売春防止法」可決成立(5・24公布、4・1全面施行)
- 一九五六 「選挙及び政治資金に関する調査」を発表。
- 一九六二 「国連婦人の一〇年推進議員連盟」結成(幹事)。
- 昭和五三 「汚職に関係した候補者に投票をしない運動をすすめる会」(七団体)結成、ストップ・ザ・汚職議員の運動を起こす。
- 一九八〇 第二二回参議院選挙、全国区一位当選。
- 昭和五五 (一九八一)
- 昭和五六 (一九八二) 死去(八七歳九カ月)



●——内容と解説

市川房枝さんの人間的魅力にひかれ、その伝記を是非映画にしたいということで、市川さんと話し合った。市川さんから出された条件は、劇構成に作るのはやめてほしい、まわりの人たちに迷惑をかけたくない、と2つ。そこで、市川さん自身によって、明治・大正・昭和にわたる、その波乱に富んだ生涯が語られていく映画ができた。この映画は、近代女性史に大きな足跡を残した、市川房枝さんの生前の記録である。(製作者：村山英治)

市川さんは明治26年、愛知県の農家に男2人、女4人のきょうだいの三女に生まれた。家は忙しく、自然児のように育ったが、高等小学校を卒業するころにはもっと上の学校に行きたいと思うようになり、14、5歳のとき一人で上京して女子学院に入学した。しかし学資が続かず、帰郷して小学校の代用教員になった。それから師範学校に進んだ。正式に教職につくと、当時は男子は月給18円、女子は16円で男女の差別を思い知らされた。

23歳のとき教職を退いて、名古屋新聞初の婦人記者をへて再び上京、「青踏」の運動で知られた平塚らいてうに出会う。日本労働総同盟友愛会の婦人部に勤めた後、平塚氏とともに新婦人協会を創り婦人運動に入った。

そのころは、治安警察法第五条によって女性は政治運動はもちろん、政談演説会を聞くことも許されなかった。この第五条の撤廃に青春のすべてをささげて闘うが、挫折して、アメリカの婦人運動を学ぶために渡米した。

関東大震災の報を契機に帰国して、国際労働機関(ILO)東京支局で働く一方、婦人参政権運動の中心になって活躍、専念する。

大正の末から昭和のはじめにかけて婦選運動は大いに高まるが、昭和6年満州事変が勃発して戦争時代に入ると、婦人は銃後の守りといって苦しい生活を強いられた。

戦後、民主主義の台頭とともに婦人参政権は実現するが、ただ単に占領軍に与えられたものではない。長い女の闘いの歴史があったのである。

●——対象

■高等学校社会科(歴史、政治・経済)教材

■大学(女性史等)教材

■地域社会活動教材…PTA・市民講座等

■生誕百年を記念して、VTR化しました。女性史や、女性の立場から社会の様々な問題に感心のある方におすすめいたします。グループでの上映会・学習会に、また個人の愛蔵版としてお役立てください。

【推薦団体名】

《特別推薦》

日本婦人有権者同盟
(財)日本女子社会教育会
日本汎太平洋
東南アジア婦人協会
日本生活協同組合連合会
独身婦人連盟
理想選挙推進市民の会
(財)婦選会館
《推薦》
日本青年団協議会

全国地域婦人団体

連絡協議会

家庭科の男女共修を

すすめる会

日本基督教婦人矯風会

全国婦人相談員連絡協議会

(社)日本女医会

草の実会

婦人民主クラブ

全国友の会中央本部

婦人民主クラブ再建連絡会

(社)家庭生活連絡会

あごら

国際婦人教育振興会

婦人国際平和自由連盟

主婦連合会

(社)日本看護協会

日本労働組合総評議会

日本労働組合総評議会

主婦の会全国協議会

東京地区私立大学

教職員組合連合

(社)ユネスコ協会

優秀映画鑑賞会

製作スタッフ

村山英治

北川英雄

池上洋史

安徳美和子

村山和雄

本橋俊男

福島幸雄

木下忠司

沼崎梅子

花崎 哲

米倉斉加年

甲藤 勇

山屋恵司

●——1992年7月の東京上映会での感想から

こういう映画を、学校の授業でもっと早く見たかったです。

教科書で読むだけでは伝わらない婦人参政権獲得の歴史を、初めて学ぶことができました。(20代 女性)

現在の日本社会に、警鐘を鳴らす映画だと思いました。

「八十七歳の青春」の価値は、今、非常に高まっているのではないのでしょうか。(20代 男性)

市川さんが理想選挙をめざしてがんばっていた頃、私は子育ての真最中でしたが、陰ながら応援していました。

久しぶりに懐かしい方に

お会いできた思いで、

胸がいっぱいになりました。(40代 女性)

生涯を通して男女差別の撤廃、婦人の地位向上への信念を曲げず、いかなる圧力にも屈することなく、言葉だけでなく、実践し続けた迫力に大きな感動を覚えました。(60代 男性)

最後の最後まで、自分の目標に

向かって生きていける姿が、

美しいと思いました。

私も頑張りたいと

思います。(20代 女性)



貸出のご案内

16ミリフィルムでの貸出も行っています。グループでの上映会、学習会などにご利用下さい。詳しくは「貸出の手引」をご請求下さい。

●完全版(121分) 1回上映 70,000円(消費税別)

●短縮版(59分) 1回上映 40,000円(消費税別)